

# まほろば



2012.3  
第127号

## ～DPC病院へ移行～

平成24年4月1日から当院はDPC対象病院となります。

「DPCとは？」と聞かれると医療職にある人でも口ごもってしまうことが少なくないと思います。DPCとは診断群(病名)分類を意味しますが、診断群(病名)分類を用いた入院診療に対する「包括支払制度」全体のことを指すのが一般的です。従来は「出来高払い」でした。これは入院中に病院で使われた医療資源などの積み重ね代金を健康保険や患者さまご自身に病院へ支払ってもらう方法です。一方「包括払い」は使った医療資源に関係なく疾病ごとに決められた金額が病院に支払われる方法です。包括払いにした方が全体の医療費が抑えられるのは誰の目からみても明らかです。これがDPC導入のメリットです。そのため、患者さまの支払う金額もやや少なくなることが期待されます。患者さま

の支払はこれまで通り、退院時に会計窓口で行ってください。

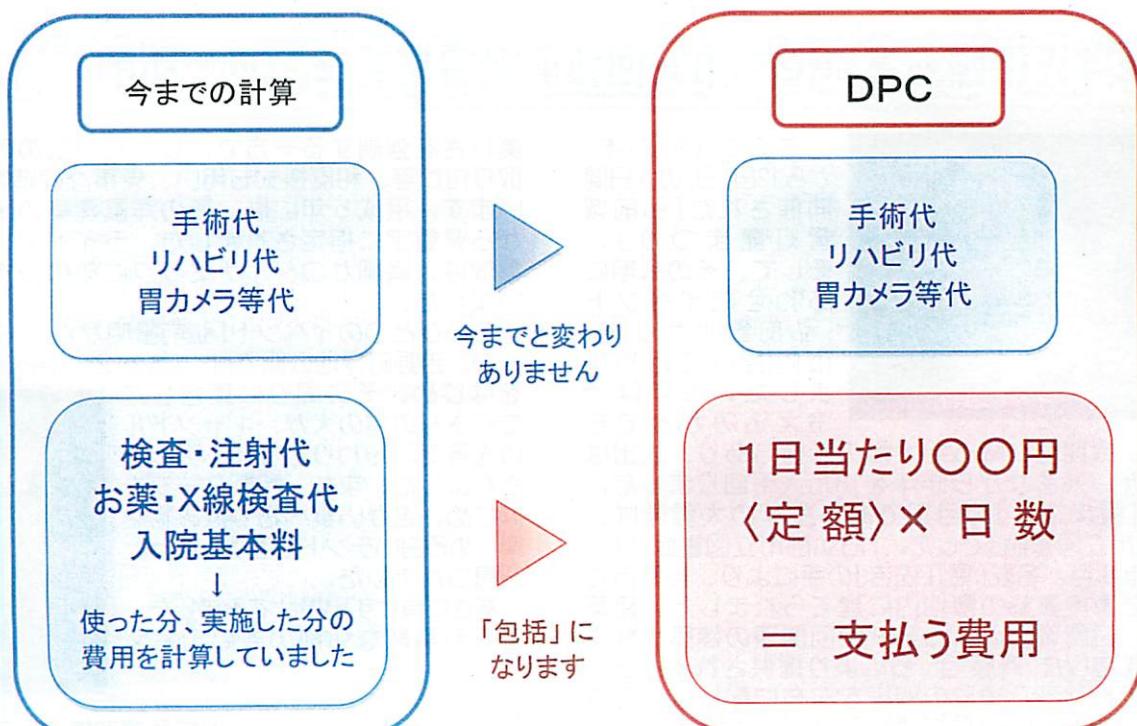
DPC導入のメリットはもう一つあります。それは、DPC導入病院は診療情報を厚生労働省に提出しなければならないため、各医療機関の医療の質やかかったコストなどの比較が可能となり、このことが医療の質の向上、標準化につながることです。

このような医療の質の向上、標準化は「生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います」という当院の理念の背骨となります。そのためわれわれ職員はDPCのもとでの最高の医療の提供に心して取り組んでいく覚悟です。

なお、DPCに関する疑問等お問い合わせは診療情報管理室までお願いします。

診療情報管理士：齋藤 文子  
経営企画室長：加藤 久弥

## DPCのイメージ図



## 青森県消防学校生徒の「病院研修」

2月27日(月)に今年度の青森県消防学校生徒の「病院研修」が行われました。この研修は、消防士になった新人職員が消防学校で受ける1年間の教育に組み込まれているもので、病院ではどのような処置や治療が行われているか、救急外来で先輩たちはどのように作業を進めているかを学びます。この研修を終了してはじめて救急車に乗って患者さんの搬送等の作業ができるようになります。今回、当院で研修したのは、弘前地区の消防署に配属されている男性15名。当日は、朝の「敬礼」から始まって、副看護部長、庶務班長の指導で、手術室やICU、検査科、放射線科、救急外来を見学し、説明を受けました。さらに看護部長による「看護すること」について、感染管理認定看護師による「感染予防」について、臨床研究部長による「救急医療を必要とする病態」についての講義がありました。

さて、この研修に関わっていつも感じることですが、消防学校の生徒は実際に爽やかな若者たちです。一生懸命に知識を吸収しようとする態度に好感が持てます。頼もしくもあります。まだまだ現場に出るのは不安だと言っていましたが、「君たちならきっと大丈夫」。

今日も多くの病んでいる人、傷ついた人が君たちの助けを求めている。さあ、行け！



臨床研究部長：泉井 亮

## 『2月3日 節分の日』



節分には、豆をまいておうちの中の悪い鬼をみんな外に追い出す日です。  
「福は内、鬼は外」って言うけど、みんなの体や心の中にいる悪い鬼ってどんな鬼かな？いじわる鬼・泣き虫鬼・おこりんぽ鬼・うそつき鬼・いたずら鬼・けんか大好き鬼！そんな悪い鬼をみんな追い出して、かわりに優しい心・強い心・頑張ろうとする心・友達みんなと仲良しになろうとする心が育つように大きな声で「福は内、鬼は外」と豆まきをしました。

日本伝統行事の1つでもある豆まきの由来について絵本や話を聞き、うなづいて心の準備ができた様子の子供たち。自分たちで制作したお面をつけて、元気よく病院の庶務課へ行きました。戸を開けた瞬間に大きい赤鬼が出てきたので、子供たちはビックリしりごみしてしまいました。様子を見ていた病院長はじめ職員の

心強いエールに励され、今度は勇気を出して大きい声で「鬼は外」と豆を投げると、裏口から逃げて行ってしまいました。「やった！」と庶務課から鬼を追い出すことができて大満足。大喜びの子供たちでした。

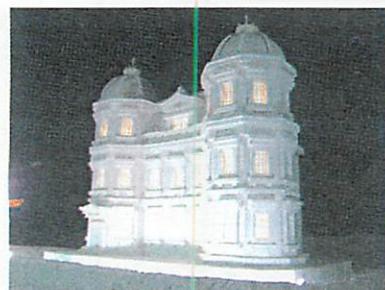
その後保育園に戻り、年少組の子供たちに赤鬼が逃げて行ったことを得意げに話していました。そこへ「ピンポーン♪」と赤鬼が遊びたいとやってきたので、泣いて逃げたり保育士にしがみついたりと大慌て。ホールに全員集まり、声を張り上げて「鬼は外！」とみんなで丸めた紙のボールを投げると、赤鬼は「参った！降参、降参！」と小さくなり、ビックリした子供たちと一緒に握手して写真を撮り「来年もまた保育園に遊びに来てくださいね」と約束しました。

豆は自分の年よりも一つだけ多く食べると病気をしないで健康で一年が過ごせると言われていますが、おうちで何個食べたでしょうか？

今年も風の子保育園園児による元気の良い豆まきパワーで皆さんに幸せな春をお届けできたらうれしいです。

風の子保育園園長：諏訪 栄子

## 『暖かな光に照らされてー第36回弘前城雪燈籠まつり・弘前雪明かりー



厳しく、会期前に降った大雪の影響もあり、人出は26万人と、残念ながら昨年を13万人下回りました。

「雪燈籠まつり」の目玉である今年の大雪像は、「旧弘前市立図書館」でした。「旧弘前市立図書館」は、明治39年3月、名匠「堀江佐吉」の手により、当時市立であった東奥義塾の敷地内に建てられました。建築資金は、日露戦争による第8師団関連の建築や鉄道工事で成功した齊藤主らにより提供されました。教会を思わせる八角形の双塔を左右に配し、正面のドーマーウィンドー(屋根窓)等、ルネッサンス様式の

美しさを強調する一方で、しっくい塗の外壁や庇の取り付け等、和風様式も用い、見事な建造物となっています。平成5年には、その洋風建築の水準の高さから県重宝に指定されました。ライトアップされた雪像は、繊細かつダイナミックにその姿を再現していました。

もうひとつのイベント「弘前雪明かり」、その会場の一つ、吉野町緑地公園では、「A to Z Memorial Dog」をはじめ、その周りに集合したたくさんの雪の犬が、キャンドルの光等でふんわりとライトアップされました。また、特製スープをはじめ、温かい食べ物や飲み物を楽しめる白いテントも登場。ほっこり一息つけました。

寒さに負けず出掛けました。とても素敵な弘前の冬に出会えました。



地域医療連携係：工藤 真淑

# インフルエンザウイルスの特徴を知って、インフルエンザ感染を予防しましょう

主な症状	・急な発熱、喉の痛み、咳、鼻水、頭痛、筋肉痛、関節痛、全身倦怠感
潜伏期間	・1~3日(インフルエンザに罹った人に接触して、発症するまでの期間)
感染性	・発症1日前から発症48時間がもっとも高い。 ・発症後1週間はウイルスを放出しているので、その間は、解熱してもマスクを装着し、出来るだけ出歩かない。
感染経路	・咳やくしゃみ、会話で口から放出される飛沫が、相手の口や鼻に付着して感染する(飛沫感染) ・飛沫や鼻水がついた手を介して、相手の口の中に入れて感染する(接触感染)
予防策	・せきやくしゃみがある時はマスクを装着する。 マスクがないときは、ティッシュで口を覆う。 手で口を覆った時は、直ぐに手を洗う。  ・外から戻った時や、食事前は手を洗う。 (アルコール消毒剤も効果が高い)
検査	・鼻やのどの奥を綿棒でぬぐった液で、迅速診断ができる。 ・しかし、必ずしも100%診断できるとは限らない。 発症直後では感度が低く、発症後12時間経過した場合で90.6%。
家族がインフルエンザに罹ったら	・同じ部屋に居るときは、本人も(呼吸が苦しくなければ)、家族もマスクを装着する。 ・良く手を洗う。 ・皆の手が良く触れる場所をこまめに掃除する。 ・乾燥を防ぎ、湿度を上げる。 ・部屋を閉めっきりにせず、時々換気する。

病院には様々な患者さんがいらっしゃいます。

他の患者さんにインフルエンザを感染させないよう、咳・発熱などの症状がある時は、必ずマスクを装着して、来院するようお願いいたします。

(正しいマスクの装着のしかた)



(誤ったマスクの装着のしかた)



感染管理看護師：佐藤 直美

## 旧病棟の解体工事



昨年10月の新病棟開設の後に、旧病棟の解体工事が始まりました。今回、解体の対象となったのは西1、2、3病棟のあった建物全部と、東2、3病棟のあった建物の2階、3階部分、南病棟の一部です。解体に先立って、建物にはすべて遮蔽・遮音のためのシートが張られましたので、どのように解体工事が進んでいるか、しばらくの間、わかりませんでした。しかし、3階部分の本体の解体とともに、一部のシートが外され、何台もの重機が古い建物を壊していく様子が見えました。解体で出た瓦礫がどんどん積み上げられています。テレビの「ビフォーアフター」で、自宅の解体に立ち会う家族が涙を流す場面をよく見ますが、自分のものでなくとも、

慣れ親しんだ建物が壊されていくとき、かつてそこにあった日常が思い起こされ、感傷的になります。しかし、解体が進み建物の底が見え始めると、今までの重い気分はすっかりなくなって、次にこの場所がどのように利用されるか、と未来予想図を描いて楽しくなります。

さて、今回の当院の病棟解体工事は津波や地震の被害によるものではありません。またここでは、大量の瓦礫が処分の受入れを拒まれるといった悲しい話もありません。ありがたいことですね。



(編集部)

# 外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表 (2012年3月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器科		熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		山本勝丸 下山亜矢子	中川英之 下山亜矢子	中川英之 下山亜矢子	山本勝丸 下山亜矢子	中川英之 下山亜矢子
消化器・血液内科		太田健 松木明彦 佐藤年信	太田健 五十嵐崇徳 松木明彦	太田健 五十嵐崇徳 佐藤年信	太田健 五十嵐崇徳 松木明彦	太田健 五十嵐崇徳 佐藤年信
小児科		三上珠希 杉本和彦 -	野村由美子 佐藤工 三浦文武	杉本和彦 三上珠希 -	野村由美子 佐藤工 三浦文武	野村由美子 杉本和彦 -
外科		田澤俊幸 三上勝也	高橋克郎 三上勝也	横山昌樹 田澤俊幸	横山昌樹 高橋克郎	三上勝也 横山昌樹
整形外科	午前	柿崎寛 八重垣誠 原田義史	柿崎寛 黒瀬理恵 佐々木 静	秋元博之 黒瀬理恵 八重垣誠	秋元博之 黒瀬理恵 浅利享	柿崎寛 黒瀬理恵 秋元博之
脳神経外科	午後	-	-	-	-	柿崎寛
皮膚科	午前	熊野高行 佐藤正憲	佐藤正憲 熊野高行	佐藤正憲 熊野高行	熊野高行 佐藤正憲	熊野高行 佐藤正憲
泌尿器科	午後	弘前大学医師	弘前大学医師	弘前大学医師	弘前大学医師	弘前大学医師
産婦人科		木村秀崇 柞木田礼子	尾崎浩士 鈴木洋一郎	木村秀崇 柞木田礼子	● 妊婦検診 (一般外来休診)	尾崎浩士 柞木田礼子
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子 二井一則	黒田令子 二井一則	● 手術 (一般外来休診)	黒田令子 二井一則	黒田令子 二井一則
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	-	-	川口英夫 (午後)	-	-
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制/第1・第3火曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		-	-	-	今充	-

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

## 今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

広報誌編集委員会において投稿されました川柳の選出を行いましたが、今月は掲載まではいたりませんでした。来月号に期待をしております。

### 患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

### お知らせ

#### 編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。

皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital  
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：臨床研究部長 泉井亮

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>